

# 浜田市立旭小学校「心に残る文化財子ども塾」

## 1. 活動の概要

令和2年9月24日木曜日、浜田市立旭小学校6年生23名、教職員1名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。1時間目は地元の遺跡の紹介、2時間目はいろいろな玉の紹介、体験活動は「勾玉をつくろう」でした。旭町では中国横断自動車道建設に伴って、たくさんの古墳が発掘調査されています。また、少し視野を広げて、浜田市には石見地方でも一級品の出土品が知られるめんぐろ古墳もあり、様々な出土品から古墳時代の不思議を感じられる、興味深い地域です。

1・2時間目は、画像と実物資料で地域の遺跡を紹介しました。埋蔵文化財調査センターが現在の浜田道建設に伴って行った発掘調査の写真や、当時の旭町教育委員会が行った山ノ内梨園にあった古墳群を紹介しました。意外にも重富バスストップに併設されている「ふるさと歴史公園」については、行ったことはもちろん、その存在を知っている児童は皆無で驚きましたが、山ノ内梨園は、つい最近、みんなで行ったらしく、身近な場所に古墳があったことに驚きの声が上がりました。

小才古墳群から出土した土器や、県内の遺跡から出土した様々な玉類を、何人かで触ってみて、感触を発表してもらいました。勾玉は「すべすべしている」とか、石材の違いで「少し重いかもしれない」など、様々な感想が出ました。

3時間目は勾玉作り。みんな、型紙を鉛筆で写し取り、恐る恐るレンガで削り始めます。次第に感どころが判ってきたのか、調子よく削り始めましたが、なかなか形になりません。残念ながら準備を含めて40分では完成せず、後は、持ち帰って仕上げることにしました。後片付けはてきぱきと分担して行われ、あっという間に完了。無事、けがもなく終了しました。古墳時代と自分たちが住む地域との関わりを実感する、密度の濃い時間になったようでした。

## 2. 活動の様子

### 1) 学校の周辺の遺跡を学ぶ



画像を見ながら学校周辺の遺跡を紹介



小さな玉を見てみます。みんな興味津々。



勾玉を作ろう！  
まずは、作り方の説明を聞きます。



型紙を使って勾玉の形を石に写し・・・いよいよ削り始めます。



夢中になってごしごし。みんな夢中になって削っているので、あまり話し声がしません。



残念な間切れ。残りの作業は、帰ってからみんなでやってくださいね。

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・古墳時代の浜田の話が面白かった。
- ・本物の勾玉にさわってうれしかった。
- ・勾玉を作ってみて楽しかった。
- ・全国の他の古墳の事も知りたいと思った。
- ・古墳調査を体験してみたい。

#### 2) 担任の先生から…

- ・専門家から詳しく教わったことで興味をもって聞くことができた。本物に触れ、味わうことのできるものに気づくことができた。ぜひ、毎年できるといいなと思います。

#### 3) 埋文センターから

- ・今回はコロナ対策で、やや準備不足もありましたが、浜田の本物に触れていただける機会ができてよかったです。勾玉作りは、時間切れで、完成には至りませんでした。ぜひ、おうちで続きをやってみてください。今日やった体験学習は、日本の歴史につながっています。授業でその時代を勉強するときに、思い出してみてください。